

選挙公報掲載文

※受付日時 月 日 時 分

みんなで新しい県政をつくる会
日本共産党推薦
草野
よしあき

今回の県知事選挙の最大の争点は、原発汚染水・ALPS処理水の海洋放出を容認する県政のままか、それともキツパリ中止を求める県政へ転換するかです。

県民の暮らしはコロナ禍、物価高騰で大変です。県立高校の統廃合強行など、県民の願いに反する県政を、暮らし応援の県政に切り替える必要があります。みなさんと力を合わせて頑張る決意です。

海洋放出ストップさせる県政へ転換を

原発ゼロへ 再稼働・新增設ゆるさない

「原発回帰」に大きく舵を切った岸田政権に待ったをかける。原発ゼロを発信し、大企業呼び込み型のイノベ構想を見直し県民本意の復興を。

増え続ける 汚染水を止める

地質の専門家が提案する「広域遮水壁」と「集水井」の設置を。海に流さないことが何よりの風評対策。原発敷地内で陸上タンク設置は可能。

憲法いかし 子育て・教育・医療福祉応援の県政へ

学校給食、全県で無料に

市町村の頑張りで県内75%の市町村で学校給食の無料化や補助が実現。今こそ県の補助で全県無料化を。

コロナ、物価高から県民まもる

医療・公衆衛生・保健所体制の強化、県独自の中小企業支援金の創設を。消費税減税・インボイス中止・全国一律最低賃金時給1,500円を国に求めます。

ジェンダー平等多様性を尊重する

選択的夫婦別姓、性の多様性を尊重するパートナーシップ制度を作ります。学校トイレ個室への生理用品の配備を。

県立高校の統廃合見直し

住民合意のない高校統廃合は中止。教育予算を抜本的に増やし、教員増で、子どもたちにゆきとどいた教育を。

若者の未来守る気候危機対策を

地球温暖化対策に逆行する石炭火力発電は廃止を。環境を壊す巨大開発ではなく、地域が主役の再エネ・省エネの推進を。

持続可能な農林水産業へ

肥料・飼料代の補助を拡充します。持続可能な農林水産業のための予算拡充。担い手増やし・後継者支援策の強化を。

熱血教師

草野よしあき プロフィール

1956年生まれ。郡山市出身、須賀川市在住。福島大学教育学部卒、在学中、全日本漕艇選手権舵手付きプロアの部優勝。県内で高校教員38年間勤務。県立高教組専従役員を歴任。現在、郡山地方労連副議長。平和のための戦争展岩瀬須賀川実行委員会代表、「食糧支援郡山市民共同センター」事務局。趣味「マラソン、囲碁」。

ウェブサイト



注意

一、氏名欄に記載し、又は記録する候補者の氏名は、当該選挙の選挙長の認定した通称があるときは、その通称を記載し、又は記録すること。
二、※印の欄については、候補者は記載しない、又は記録しないこと。

候補者氏名	
連絡の場所及び電話番号	